

CAREER UP & TURN PROGRAM

2023年度より制度スタート。



地域で医療を学び、
未来を拓く経験を。

新潟県との
連携からスタート！
順次、連携エリア
拡大予定。



大阪府地域医療支援センター

大阪公立大学医学部附属病院

<令和4年(2022年)4月に名称変更>

[所在地] 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 [URL] <https://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/>

■ 病床数/965床 ■ 医師数/640名

■ 年間外来患者数/431,864件(延べ) ■ 年間入院患者数/185,913件(延べ) ■ 年間救急搬送件数/3,077件(延べ)

大阪市南部基本医療圏にある急性期基幹病院。大阪市内にある医学部附属病院として臨床教育に関して中核的な役割を担うとともに、高度専門医療についても大阪府内の様々な分野の中核的な役割を担っています。



HPIはコチラ



研修制度について

当院を基幹施設として大阪市二次医療圏を中心に近隣地域を含む連携施設群にて内科専門研修を実施。地域の実情に合わせた実践的な医療を行い、内科専門医としての基本的臨床能力を磨きます。内科全般をしっかりと研修する内科基本コースと、サブスペシャリティ研修も平行して行う各科重点コースに加えて、新潟県の病院での1年間の研修を含めたコースも設置いたしました。

MESSAGE FROM HOSPITAL

3年間の研修期間中、豊富な臨床経験を持つ指導医のもと主担当医として多くの症例が経験できます。研修修了後は最短で各サブスペシャリティ専門医を取得できるようにサポート。専門性だけでなく多様化するニーズに沿える研修を検討・提供します。

北野病院

[所在地] 大阪市北区扇町2-4-20 [URL] <https://www.kitano-hp.or.jp/>

■ 病床数/685床 ■ 医師数/298名

■ 年間外来患者数/385,015件(延べ) ■ 年間手術件数/6,244件(延べ)

大阪市北部基本医療圏にある急性期基幹病院。大阪市内の中心部である梅田の近くに立地し、地域の中核病院として先進の医療を実践するとともに、医学水準向上のために教育・研修および臨床研究に力を入れています。



HPIはコチラ



研修制度について

当院の内科専門研修プログラムはサブスペシャリティを重視していますが、内科診療科間の垣根は低く、各科の専門家の指導を直接受けて内科全般の研修も同時に行うことができます。研修期間は基幹施設である当院2年と新潟県の連携施設1年の3年間、または当院3年と連携施設1年の4年間を選択することが可能です。

MESSAGE FROM HOSPITAL

当院の内科専門研修プログラムでは、専門性の土台となる内科学の基本を備えるとともに、専門領域外の基本事項にも適切に対応できる責任感を持った内科医を育成します。また、臨床・基礎研究を行えるリサーチマインドを持つとともに、将来は高い専門性を追求できる内科医を育成していきます。

大阪府済生会茨木病院

[所在地] 大阪府茨木市見付山2-1-45 [URL] <https://www.ibaraki.saiseikai.or.jp/>

■ 病床数/315床 ■ 医師数/54名

■ 年間外来患者数/99,924件(延べ) ■ 年間内視鏡件数(上部・下部)/3,261件(延べ) ■ 年間救急搬送件数/3,271件(延べ)

大阪府三島二次医療圏にある急性期基幹病院。茨木市内唯一の公的病院かつ地域の中核病院として最新の設備・技術・環境を整え、地域の医療機関や福祉関係機関との連携による切れ目のない医療の提供を進めています。



HPIはコチラ



研修制度について

大阪府三島医療圏を中心に近隣医療圏を含む連携施設等で内科専門医の育成を行うコースと、今回新潟県の地域中核病院を連携施設として1年間研修するコースを新たに設置。専門研修の1年目・3年目に当院で研修を行い、2年目に新潟県での研修を行うことを基本としますが、時期や内容については専攻医のご希望に沿って調整します。

MESSAGE FROM HOSPITAL

内科のスタッフ医師の一員として地域医療に貢献し、地域の実情に合わせた実践的な医療を経験し、基本的臨床能力の向上を目指します。研修修了後は当院と新潟県での経験を活かして、大阪府の医療を支える総合的な内科専門医として活躍することを期待しています。

堺市立総合医療センター

[所在地] 堺市西区家原寺町1-1-1 [URL] <https://www.sakai-city-hospital.jp/>

■ 病床数/487床(うち感染症病床7床) ■ 医師数/205名

■ 年間外来患者数/212,233件(延べ) ■ 年間手術件数/4,989件(延べ) ■ 年間救急搬送件数/7,440件(延べ)

大阪府堺市二次医療圏にある急性期基幹病院。堺市唯一の公的病院かつ地域の中核病院として救急医療や高度専門医療を担うとともに、臨床教育にも力を注いでいます。



HPIはコチラ



研修制度について

当院で2年、連携施設又は特別連携施設で1年の合計3年間での研修を実施。専門研修1年目に当院の専門内科をローテート研修して基盤をつくり、2年目に新潟県で1年間、大阪と異なる環境での急性期医療を研修してもらうことで、内科医として幅広い経験を積むことができます。3年目はサブスペシャリティ研修として科を固定することも、ローテート研修を継続することも可能です。

MESSAGE FROM HOSPITAL

私たちの掲げる内科医は「ジェネラルマインドを持ったスペシャリスト」。専門分野に留まることなく、患者さんが抱えている問題を把握し、最適な医療を提供できるように、10年以上前から内科専攻医を受け入れ、ローテート方式により内科の土台づくりを実施しています。

新潟県厚生農業協同組合連合会

上越総合病院



HPIはコチラ



[所在地] 新潟県上越市大道福田616番地

■ 標榜診療科目/内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、循環器内科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、腎・糖尿病内科、放射線治療科、乳腺外科、歯科・口腔外科

■ 病床数/313床

■ 医師数/常勤:70人 非常勤:7.74人(2020年4月1日現在)

■ 患者数/入院(R1年度) 年間延べ患者数 97,325人 1日平均患者数 265.9人
 外来(R1年度) 年間延べ患者数 202,963人 1日平均患者数 842.2人

新潟県上越二次医療圏の急性期基幹病院。急性期のみならず、病院の理念「医療を通じて上越地域の発展に貢献する」のもと、地域に根付いた医療を実践しています。地域のニーズに応え、救急部門では一次から二次、一部三次救急まで幅広い救急医療を提供。また教育研修センターを設置して職種を問わず医療人の人材教育にも力を注いでいます。

○ 医師派遣が多大学から集まる医局

各診療科の垣根が低く診療連携が取りやすい環境です。多様な考えから新しい文化が生まれます。

○ 教育研修センターによる支援

教育研修センターを有し、「学習者第一」の視点で卒前卒後の医師教育や職員のスキルアップを支援しています。

○ 福利厚生が充実

職員の健康管理がきちんとなされています。同好会活動(テニス・野球・バトミントン・華道等)や院内親睦会行事も盛んです。

○ 女性医師サポートあり

院内保育所をはじめ、他の保育所利用やベビーシッターに係る費用の助成制度などを用意。女性専用のシャワー室を設け、現在、休憩スペースも設置予定中です。

研修制度について

研修を通じて標準的かつ総合的な、内科的医療の実践に必要な知識・技能・態度を身につけます。また、個人のサブスペシャリティ専攻に合わせ、より習熟した専門領域の研修も行われます。初期研修では、第三者評価の臨床研修評価機構からエクセレント賞を受賞。

○ 複雑な症例、診断困難症例なども経験可能

循環器、呼吸器、消化器、神経、腎・糖尿病のサブスペシャリティをはじめ、コモディティーズから老年医療、複数の病態を併せ持つ複雑な症例、診断困難症例などを総合内科診療科で経験可能です。

○ 急性期から慢性期まで幅広い領域に対応

厚生連病院として地域に根ざした第1線の医療を行っており、医療を通じて上越地域の発展に貢献するという理念のもと、急性期から慢性期まで幅広い領域に係る研修ができます。

○ 救急においても豊富な症例を経験

救急は二次救急、一部三次救急までを担っており、救急車受入実績は数多く、その半数程度は内科系救急であり、十分な症例を経験できます。

(救急車受入実績)2018年度 2,709件、2019年度 2,656件 (Walk-in救急患者実績)2018年度 5,453人、2019年度 4,853人



MESSAGE FROM HOSPITAL

当院は上越医療圏の基幹病院として救急医療から急性期疾患、そして慢性期疾患(高齢者、終末期)、地域医療といった様々な医療現場を経験することができます。また、総合診療にも力を入れており、ジェネラリストを目指す研修も可能です。病院全体で若手医師の育成に取り組んでいる当院での研修をぜひご検討ください。

内科専門研修プログラム責任者 佐藤 知巳

<2023年度開院予定>

県央基幹病院



HPIはコチラ



【所在地】新潟県三条市上須頃地内

- 標榜診療科目／内科(循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、内分泌内科、腎・膠原病内科、血液内科)、脳神経内科、精神科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、総合診療科 の22科を基本
- 病床数／400床(一般病床396床、感染症病床4床)

県立燕労災病院・厚生連三条総合病院の再編統合と、済生会三条病院・県立吉田病院・県立加茂病院の急性期機能の集約を行い、新たな中核病院となる県央基幹病院を2023年度に開院予定。隣接医療圏の医療機関との連携強化、圏域内の病院との連携・役割分担を進め、救急医療をはじめとした急性期・入院医療に特化した、救急車を断らない医療を実現します。また、若手医師がキャリアアップできる教育・研修体制の構築も計画中です。

○ 救急を重視したハード整備

救急外来では、災害医療における優先度(CSCA)の思想のもと、視認性の良さや機動性の高さが得られる設計を実施します。また、救急搬送患者が迅速に検査を受けられる放射線機器も配置。

○ ICT活用の医療システム導入

近隣の救命救急センターからのモニタリングによる診療支援体制やICTを活用した合同カンファレンスの開催など、救急医や上級医によるコンサルト、多職種コミュニケーションがいつでもスムーズに図れる連携体制を構築。

○ 感染症対策に工夫した設計

感染症対策のための陰圧仕様の個室や多床室を設置します。感染症拡大時には一般病棟を感染症病棟に切り替えて対応し、その他、1階に発熱外来スペースを確保する予定です。

研修制度について

研修を通じて標準的かつ総合的な、内科的医療の実践に必要な知識・技能・態度を身につけます。また、個人のサブスペシャリティ専攻に合わせ、より習熟した専門領域の研修も行われます。

磨く① ER救急体制

○ 救急・総合診療を核とした救急医療体制

- 救急、総合診療、外傷再建のスペシャリストを核とした診療体制の構築。
- ER救急立ち上げに魅力を感じ、共に新しい医療体制を創造する医師を採用し、新潟初となるER救急体制を構築。

○ 地域との連携構築

- 地域の救急医療、専門医療を一手に担う救急医療体制の構築。
- 救急外来機能向上とHCUや救急病床整備を段階的に進め、救急患者の受け入れを拡大。
- ICTを活用した院内外コンサルト体制の導入。

○ 切れ目のない医療提供を実現

- 地域の病院と定期的な合同カンファレンスを実施し、顔の見える信頼関係の構築と協力体制を強化。
- 救急隊との意見交換を開催し、迅速で適切な医療提供体制を構築。

○ 医療スタッフのスキル向上

- 救急総合診療医との定期研修会や症例カンファレンスを開催。
- 近隣の救命救急センターに職員を研修派遣し、多様な現場での経験を積む機会を準備。

磨く② 教育研修体制

○ 専門性を高めながらジェネラリスト育成

- 救急科と総合診療科が統合し、救急・総合診療科を創設。同科ではER・ICU・GIM(総合診療)を数週間または数か月サイクルで自由に行き来し、専門性を高めながら医師自身が目指すキャリアを形成することができる。

○ 総合診療の実践の場

- 講義やカンファレンスのみではなく、多職種意見を聞きながら患者の生活をマネジメントする能力を醸成。
- 研修医やキャリアチェンジ医師のための研修プログラムを設置。

○ 医療スタッフのスキル向上

- 救急総合診療医との定期研修会や症例カンファレンスを開催。
- 近隣の救命救急センターに職員を研修派遣し、多様な現場での経験を積む機会を準備。

MESSAGE FROM HOSPITAL

県央基幹病院のビジョン・ミッション・思い描く構想など、各担当医師が語るインタビュームービーをYouTube新潟県公式チャンネルにて公開中です。ぜひ、ご覧ください。

インタビュームービーはこちら



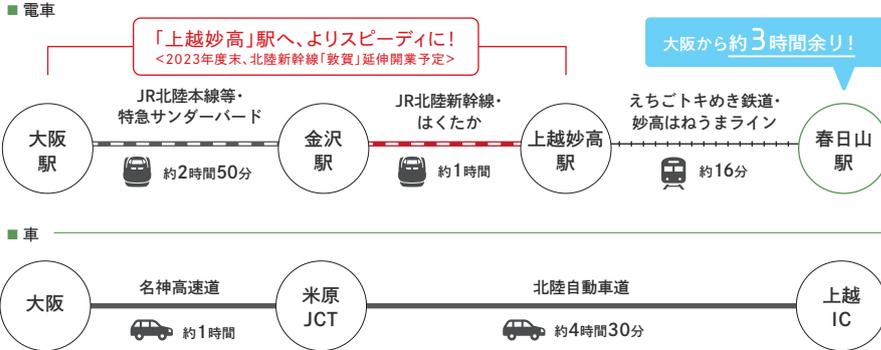
NIIGATA LIFE NAVI

-新潟県の暮らし情報-

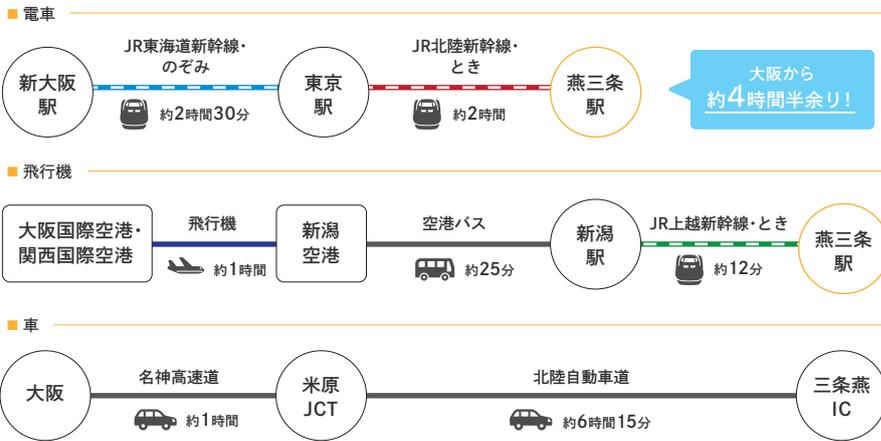
雄大な日本海や山々に面し、自然豊かな恵みにあふれる新潟県。大阪をはじめ、主要都市からのアクセスも充実で、都会と変わらないほど暮らしの利便性も整っています。

ACCESS

上越市



燕市・三条市



LOCATION

上越市



- 周辺オススメ飲食店
- ① 麺屋 あごすけ
 - ② いっさく上越インター店
 - ③ 焼肉モランボン 市役所前店
 - ④ カレーハウスCoCo壱番屋 上越アルカティアシティ店

燕市・三条市



- 周辺オススメ飲食店
- ① 越後肴屋 よね蔵 燕三条店
 - ② うなぎ 鈴の音
 - ③ あぶり料理の権十楼

ENJOYMENT



日本の米どころであり、海の幸、山の幸にも恵まれた屈指の美食県。温もりあふれる郷土料理やご当地グルメ、話題のスイーツなどが目白押しです。



ウィンタースポーツはもちろん、冬場以外にも自然の遊び場を活かしたアクティビティが満載。一年中を通して、この地ならではの楽しみが見つかります。



風光明媚な風景だけでなく、歴史文化を色濃く残す地や人気の温泉地、話題のアート、ショッピングエリアなど、ぜひ訪れたいくなるスポットが満載です。

新潟県の暮らし・観光情報について、もっと知りたい方は右記サイトも要チェック!

新潟U-ターン総合サイト「にいがた暮らし」



上越市公式観光サイト「上越観光Navi」



三条市公式観光サイト「SANJO NAVI」



燕市観光情報サイト「TSUBAME TRIP」

